

こしがや能楽堂だより

平成 29 年 7 月号



【こしがや能楽堂 9・10月の主な催し物】

【第28回こしがや薪能】 9月10日(日) 16:50開場 チケット発売中 一般3,500円・学生1,000円

【雅楽 ~東京楽所~】 9月24日(日) 17:00開場 チケット発売中 一般2,000円・学生1,000円

【秋の調べ こしがや能】 10月15日(日)

【こしがや能楽の会】 10月22日(日)



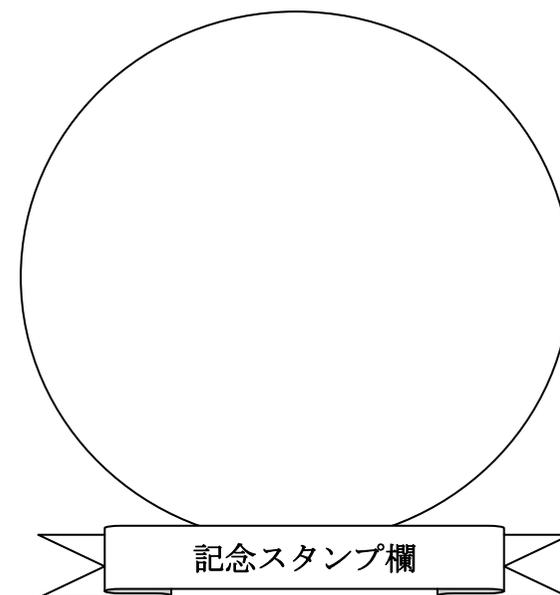
能 「松風」 紹介

旅の僧が須磨の浦を訪れ、在原行平に愛された松風村雨という二人の海女の古跡の松で回向する。月夜の浜辺に、潮汲車を引いた海女が二人現れ、潮を汲み、桶のなかに映った月を乗せて運んで来る。僧が古跡の松を弔ったことを話すと、二人の海女は涙を流し、松風村雨の亡霊であると答える。

松風は、行平の形見の立烏帽子、狩衣を身につけると、妄執にとらわれ、松を行平に見たてて木陰に寄り添い恋慕の舞を舞う。やがて松風と村雨は僧に回向を頼み姿を消す。

恋しい男との幸せな生活を懐かしむ女の情念を、死後の世界からふり返った名作。月光に照らされて潮汲車を引き、水桶に潮とともに月影を汲むまでの詩情豊かな場面は見どころで、しみじみとした味わいがある。恋慕の心情は、その純粹さと所詮叶えられぬ恋の悲劇性によって、情念の極致と言うべき世界を創り出す。

参考：淡交社 能観賞二百一番



- ◇ 住所：越谷市花田六丁目6番地1
- ◇ 電話：048-964-8700
- ◇ FAX：048-964-8622
- ◇ ホームページアドレス <http://nohgakudou.koshi-kannri.com/>
- ◇ 開館時間：午前9時～午後9時30分
- ◇ 休館日：毎週水曜日(祝日にあたる時は、その翌日)
年未年始(12月29日～1月3日)
- ◇ 能楽堂の見学は無料です。

こしがや能楽堂



交 通 機 関	
東武スカイツリーライン・地下鉄日比谷線・半蔵門線・JR 武蔵野線	
新越谷駅・南越谷駅	越谷駅
北口から	東口(北側ロータリー)から
花田行き又は市立図書館行き	花田循環又は市立図書館行き
花田苑入口下車	花田苑入口下車